

人間の本性を暴き出せ——人文科学研究科

What is Man?: Our ultimate purpose is to expose human nature.

Shujitsu Grad. School | School of Humanities



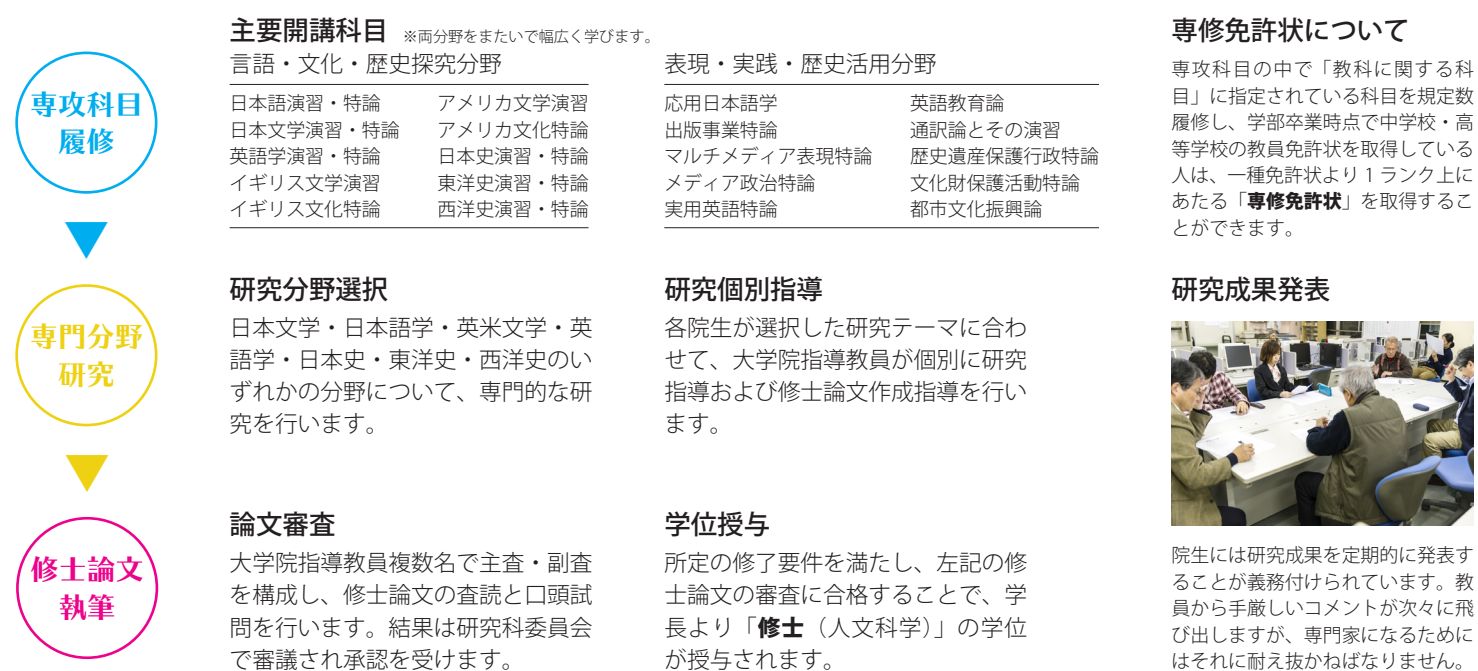
諸君が取り組むのは、P・ゴーギャンが大作の題名に用いた「我々（人間）とはなにか？」という問題です。これは人文科学の基本命題であり、人類誕生以来の究極課題です。人類史とは、誤答も含めてこの課題の「答え」を模索する試みの歴史です。この問題について、歴史・文学・言語などの研究対象を通して自らの「答え」を追究します。安易な既存知識・技術の使いまわしは通用しません。旧来研究や本学の専門家に導かれつつ、テキストはじめ研究対象に直接相対して分析し、自らの言葉と思考で構築された「答え」を模索します。簡単には行きませんが「答え」を垣間見ることは可能ですし、その時は、大きな精神の拠所を得るはず。仏教でいう「自灯明、法灯明」の「自」「法」がこの「答え」に通ずることに窺われるように、ここには人類存在の普遍的・根源的拠所が示されているからです。諸君がどんな「答え」を見出し、どんな言葉で語ってくれるのか、我々教員は心待ちにしています。

曾根 正人

人文科学研究科教授・研究科長。専門は日本仏教史。

修士課程修了までの流れ

本研究科は修士課程（修業年限2年）です。最終目標は修士号（人文科学）の取得です。そのために、本研究科所定の単位を修め、修士論文の審査に合格する必要があります。課程修了までのカリキュラムは、およそ以下のようになっています。



手つかずの近世漂流史——研究 Case#1



恵谷 敏規

人文科学研究科 人文科学専攻 修士課程2年

Q. なぜ大学院へ進学しようと思ったのですか？

A. 卒業論文を執筆したときに「この研究はもっと深く掘り下げることができるのでは？」と思いつつ、論文の完成を迎えたわけですが…やはりもっと追究したいなと。それに、以前から研究職を志していましたので。

Q. 大学院では何を研究しているのですか？

A. 現在は1837年に起きたモリソン号事件をテーマとして扱っています。日本人漂流民をアメリカの貿易会

社が送還しようとした折に、日本側がその船を攻撃したという事件です。実は、その船が日本に向かう前に琉球に寄港したわけですが、先行研究ではその詳細がほとんど扱われてこなかったんです。その船が琉球に寄港したのはなぜなのか？そして、結果として乗組員は琉球にどのようなイメージを抱くようになったのか？これらに焦点を当てて研究を展開しています。

Q. 大学院修了後の目標はどのように考えていますか？

A. 他大学の博士課程で研究を継続します。近世の歴史を対外交渉史、とくに航海や漂流といったあまり注目されてこなかった視点から捉え直したいと考えています。

Q. 大学院への進学を考えている方に一言。

A. 好奇心を持つことが第一歩だと考えています。次に、夢中になれるものを見つけることです。今の研究テーマに巡り合えたおかげで、研究に対する情熱を今まで以上に堅持することができますようにになりました。みなさんにも、そうした出会いがあるといいですね。



図書館の膨大な蔵書や資料は私の知に対する貪欲さを満たしてくれます。図書館に入り浸るのも珍しくありません。

中原は思想を変えたのか？——研究 Case#2

Q. なぜ大学院へ進学しようと思ったのですか？

A. 深く追究して突き止めたいと思うことがあったからです。学部時代から中原中也の詩人としての人物像を追ってきたのですが、中原が晩年に自らの思想を変えたという従来の評価は本当なのかな…と。また、国語科の専修免許を取得したいという気持ちもありました。

Q. 大学院では何を研究しているのですか？

A. 中原中也の作品を深く読み込むことに加えて、その当時の時代背景、同時代の文学者や哲学者との共通点や相違点なども研究しています。実は、中原についての研究はそこまで数多くなくて、中原の評価自体もきちんと定まっているわけではありません。資料化されている日記や評伝から裏付けをとることができる部分もまだまだ残されているのではないかと感じています。



作品について指導教員と語り合うひと時はとても貴重です。研究上の思いがけないヒントをいただくこともしばしばです。

Q. 大学院修了後の目標はどのように考えていますか？

A. 国語科の教員を目指しています。作品そのものだけではなく、そのバックグラウンドも含めた「深い読み」を指導するこ



段上 美香

人文科学研究科 人文科学専攻 修士課程1年

とができるような教員を目指していますが、それには院で培われる専門性が欠かせないと考えています。

Q. 大学院への進学を考えている方に一言。

A. 卒業論文に真剣に取り組んでいて「もっと掘り下げてみたい」「言い足りない」という感覚を覚える人は少ないと思います。就職も大切ですが、「もっと学びたい」という気持ちも大切です。人生でひとつのことにここまで注力するチャンスは、きっと今だけです。

「専門家」かつ「教職」という選択肢

大学院で専門的な研究を続けたいが、教職に就きたいとも考えている。このような場合、どうすればよいのか？——**大学院への進学を選択肢のひとつとしてぜひ検討してみてください。**大学院への進学は教職への道を妨げるものではありません。むしろ、自らがこれまでに培ってきた専門性を教育に活かす方法をじっくりと考えることができる、またとないチャンスです。

教員採用試験の状況を見ると、教職は狭き門だとわかります。そのため、大学院へ進学すると教職に就く数少ないチャンスを逃してしまうのでは…と考えるかもしれません。しかし、たとえば岡山県の場合、右の抜粋にあるように、**大学院在籍中に教員採用試験に合格しても、大学院修了まで着任を待つことができます***。そのため、大学院への進学が教職への道を妨げることはありません。

修士課程の修業年限は2年です。その間に、専門的な研究を深化させることは当然ですが、同時に自らの専門性を教育に活かす方法を考えたり、教壇に立つためのスキルを磨いたり、教員採用試験対策に時間を割いたりすることも可能です。**教職に就くことは、研鑽を重ねてからでも決して遅くはありません。**逆に、「専門家」かつ「教職」という選択肢を選ぶことができるのは、大学院への進学を考える今だけです。

*各都道府県の教育委員会により違いがあります。

大学院において修学中であり、すでに教諭普通免許状（受験した校種・職種、教科等のもの）を所有している者で、かつ、平成30年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験の結果、採用候補者として登録された者が、引き続き大学院での修学を希望する場合、その採用候補者名簿の登録の有効期間を、平成32年3月31日まで延長する。

『平成30年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項』（岡山県教育委員会）より抜粋

人文科学専攻修士論文題目一覧

- | | | |
|--------|---|--|
| 2010年度 | ・ 平安時代の陰陽道と陰陽師—九世紀から十一世紀にかけての陰陽師と「陰陽道成立論」について—
・ 異人・異類の役割語の研究
・ ベリクレスとアルキピアデス | ・ 『左逸』『短長』の研究 |
| 2011年度 | ・ 『嵐が丘』と神話
・ 現場指示における日中両言語の対照研究
・ 日韓両言語における敬語の対照研究—現代文学作品を中心として—
・ 室町物語『鴉鷲合戦物語』の研究 | 2014年度
・ 藤原有家の伝統的研究—官人として、歌人として—
・ 内田百閒『冥途』研究 |
| 2012年度 | ・ 17世紀オランダ美術と社会
・ 現代流行歌の語彙の変遷
・ On the birth of a man in Sons and Lovers Jane Eyre について—特にセント・ジョンの求婚を拒否した理由 | 2015年度
・ 宮沢賢治『銀河鉄道の夜』論：ジョバンニ帰還の意味 |
| 2013年度 | ・ 『政治初度百首』における藤原有家
・ H. G. ウェルズの小説における生命のまなざし
・ 谷崎潤一郎「刺青」論—オスカーワイルド「サロメ」との関連性—
・ 准母の研究 | 2016年度
・ Falsely Exaggerated Pride of Othello
・ アントニオ・ペレス事件にみる異端審問制度の政治性
・ Alice's Expressions of her Desires through her Experiences in "Wonderland" |





Q. なぜ大学院で学ぶのか？

A. 「専門家」になるためです。

「大学院」という名称を耳にすると、すぐに「研究職」という道を連想するかもしれません。しかし、実はそれだけではありません。大学院は専門的知識・教養を身に付けるための教育研究機関であり、いわば特定分野の「専門家」を育て上げる機関です。その過程で、知識・教養だけでなく、自ら問題・課題を発見し自らそれを解明するという専門家としての技量も身に付けます。専門家として、研究職を志す人もいれば、教壇に立つ人もいますし、専門家になることを生涯教育のひとつのゴールと捉える人もいます。

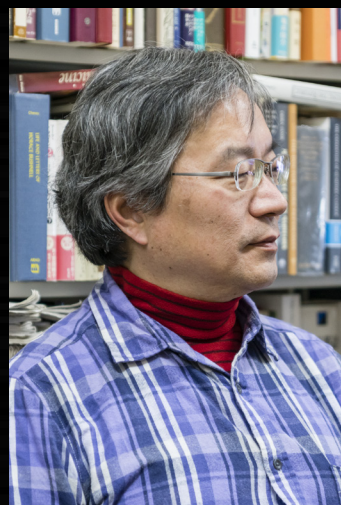


川崎 剛志

人文科学研究科教授。専門は日本中世文学。

Q. 大学院で何を学ぶのか？

A. 「人文」つまり「人間の正体」です。



「私たち人間は一体何者なのか？」——この問いに答えることができる人はまずいません。答えることができても、精々断片的です。私たち人間は自らの正体を、ある時は作品の中に、ある時は言葉の中に、ある時は歴史の中に刻み込んできました。大学院では、文学、言語学、歴史学の中からひとつを選び、そうした人間の軌跡を浮き彫りにすることで、「人間の正体」を掴みます。それが「人文科学」です。私たちがふだん目にするあの小説も、あの言葉も、あの史料も、実は「人間の正体」を知るための大きな手掛かりなのです。

和栗 了

人文科学研究科教授。専門はアメリカ文学。

Q. 大学院修了後の進路は？

A. 各人の目的によって異なります。

修士号を取得して「専門家」としての第一歩をどのように踏み出すのかは、人によって異なります。本研究科は修士課程ですので、さらに専門的な研究を深く追い求めようとする人は他の大学院の博士課程に進学します。その一方で、教員一種免許状よりもワンランク上の「専修免許状」を取得した人は、中学校や高等学校などの教壇に立ちます。中には、講師として大学、高専などの教壇に立つ人もいます。このように、本研究科で獲得した専門性をどのように活かすのかは、その人の目的次第ということになります。



菊米 一志

人文科学研究科教授。専門は日本中世史・宗教社会史。

大学院入学試験

人文科学研究科 人文科学専攻 修士課程 募集人員 10名

秋季入試	春季入試
出願期間 2017年9月1日(金)～9月12日(火) 消印有効	出願期間 2018年2月9日(金)～2月19日(月) 消印有効
試験日 2017年9月22日(金)	試験日 2018年2月27日(火)
合格発表 2017年10月3日(火)	合格発表 2018年3月3日(土)

※一般選抜に加えて、社会人特待生選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜などの入試制度があります。詳しくは「学生募集要項」をご覧ください。資料請求は本学入試課まで。

大学院公開説明会

大学院公開説明会を年度内に2回開催しています。

第1回	第2回
日時 2017年7月21日(金) 16:30～	日時 2018年1月19日(金) 16:30～
場所 就実大学図書館 6F 604号室	場所 就実大学図書館 6F 604号室

! 大学院への進学を検討されているみなさんへ

大学院では、各人の研究内容に応じた個別指導を行いますので、当該の研究内容について大学院指導教員とのマッチングが必要になります。大学院への進学を検討されている方は、事前に必ず入試課までご相談ください。また、大学院の公開説明会を上記の通り年度内に2回開催していますので、お気軽にお越しいただき、ご相談ください。



就実大学 入試課

703-8516 岡山県岡山市中区西川原 1-6-1
TEL: 086-271-8118 MAIL: nyushi@shujitsu.ac.jp

人文知の宝庫

2018年度 入学案内

知の探究に年齢制限はない